

大館アメツコ市

史上最高の人出でにぎわう

四百年の歴史を持つ冬の風物詩「大館アメッコ市」が、今年も二月十一、十二の両日、大町通りをメイン会場に市内四会場で華やかに開かれました。前日までの寒気も緩み青空の広がる好い天気となった十一日は、朝から大勢の市民、観光客が繰り出し色とりどりの枝アメ、細工アメを買ひ求めています。また、シンボルキャラクターおこうと白ひげ大神の巡行、アメ細工の実演、チビッコたちのゲーム、どんど焼きなど盛りだくさんの行事に市民も大喜び。出店数、人出ともにこれまでの最高となりました。



▲会場内を巡行する“おこう”と“白ひげ大神”

▼盛況だった市民演劇クラブによる影絵“おこう”物語



▲かぜをひかないようにとアメを求める
人たちが終日にぎわいました



▲冷めたい水に手を入れ鯉つかみする子供たち
——長木川第2会場



▲無病息災、家内安全などをお祈りする人たち—雪の神殿



▶夜のメイン行事とんと焼き